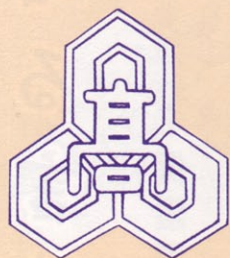


大田高校 P T A 広報



泰山木

Taisanboku

第84号

平成21年3月1日

島根県立大田高等学校
P T A 総務委員会



旧体育館

人間の底力

校長 石飛 静雄

驚きです。こんな事が信じられるでしょうか。人間の潜在能力とはつくづく底知れないものだと思います。こんな事とは「九日間、堂にこもり、断食、断水、不眠、不臥でひたすら不動明王の真言を唱える」ことです。それだけではありません、七年間で約四万キロ、ほぼ地球一周分を歩き通します。

それでは詳しくお話します。これは、「千日回峰行」と言つて、約七年間かけて比叡山中を千日間巡拝する天台宗の修行法です。「不退行」と言われて、いったん行に入ったら途中でやめることは許されません。初年から三年目までの年間百日間、一日三十三〜四十km、四〜五年目はそれが年間二百日に及びます。五年目に七百日が終わると、先ほどの「堂入り」という信じられないような行が待っているのです。

この「千日回峰行」を達成したのは、織田信長のころから、今まで約四百年間でわずか四十九人です。「現代の生き仏」と言われる酒井雄武天台宗大阿闍梨は、なんとこれを二回も行つておられます。超人としか言いようがありません。

人間にはやる気になれば信じられないようなことも可能にしてしまう能力がありますが、この「千日回峰行」はすでに体力の限界を超えています。とすれば、これを可能ならしめているのは、ひよとすると脳のしわざかもしれません。最近、脳の専門家が、「人間の脳は本気になればとつともない力を発揮する」という内容の本を著しました。

そこで、大高生の皆さんにも、自分には大いなる潜在能力があることに、是非とも気づいてほしいと思います。そして、思う存分、その能力を発揮して社会に役立ててほしいと思います。「大高生の底力」を期待しています。

贈る言葉

保護者から

唇に歌を。心に太陽を。

真田 一

三年前、娘の進学に合わせたかのように私の転勤場所は、なんと大田高校の隣。そのおかげで娘のアッシー君として度々活躍することができました。娘とのコミュニケーション不足を感じていた私にとつてこの奇遇は、今思えば、とてもいい巡り合わせでした。

娘は生まれた時から歌が好きで、よく口ずさんでいました。それは十八年経った今でも娘の個性の一つになっています。車のCDから流れる歌に合わせていつも大きな声で歌っていました。好きな曲をお互いに聞かせ合ったり、いっしょに口ずさんだりして、親子の絆づくりの立派な手段になっていました。たまに歌声の聞こえない時もありました。不安や悩みを抱えたり、落ち込んだりしているんだなと思いつつも、父親としては、静観するばかりでした。

これから先、大声で歌うことのできる環境ではないかも知れませんが、いつも唇に歌を、心に太陽を持って、頑張つてほしいと願っています。

感謝の気持ちを忘れずに

水田 雄二

早いもので大田高校に入学して三年間が経ちました。三年生の夏までの部活動（野球部）は、ほとんど休みもなく、勉強と部活の両立、よくがんばりました。正に文武両道を目指して掲げる野球部に所属し、最後は主将としてチームをまとめ上げた姿は大変立派でした。甲子園には手が届きませんでした。が、野球を通じて得た多くの仲間や自分たちを支えてもらった監督、OB、地域の皆さん、保護者への感謝の気持ちは決して忘れてはいけません。

四月からは、新たな生活が始まります。初めての一人生活。そして大学での野球。少しの不安と大きな希望が入り混じつての生活がスタートします。そこでは新たな出会いがあり、自分自身の成長につながることを確信しています。感謝の気持ちを忘れず夢に向かって羽ばたいて下さい。卒業おめでとう！

贈（はなむけ）

天尾 圭

息子が入学してからもう三年、月日の速さを感じています。

その間、友達や先生方との出会いの中で、心身共に成長していく息子を見て親として大変うれしく思っています。

そのすばらしい高校生活の中で、自分の

進むべき道を見つけ、今まさに歩を進めようとしている卒業生の皆さんに「はなむけ」として「贈」と云う言葉を贈りたいと思います。

この「贈」の「はな」とは、「馬の鼻」のこととて、旅立つ人の乗る馬の鼻先を進むべき方向に向け、道中の無事を祈り背中を押すのが「はなむけ（鼻向け）」だそうです。

皆さんの今後の人生は、自分の力で考え、悩み、失敗をし、そして立ち上がる、この連続でしょう。道に迷うこともあるでしょうが、そんな時には、皆さんの事を思いながらそつと背中を押した者達がいる事を忘れないでください。ずつと応援しています。

感謝を忘れず上を向いて

田村 久美子

産まれてきたとき、初めて立ったとき、初めて言葉をしゃべったとき、それぞれが与えてくれた例えようのない幸福感を忘れることはできません。振り返れば、この十八年間で身体・心の成長はほぼ完成しました。これからは心の成長が楽しみです。今までは親や先生方に頼つて暮らしてきたけれど、今後は環境も変わり、ほとんどの人が親元を離れて生活することとなるでしょう。勉強や仕事はもちろん大事ですが、ひとりでもやってみることが大切です。家事、いろいろな手続き等とまどうことも多いでしょうが、きつとこれからの人生に役立つことばかりだと思います。そして、

あなたを支えてくれている人達への感謝を忘れず、上を向いて歩いていくことを願っています。

「ホッ」とする場所

月 森 三十枝

「ぼくは、都会には住めない。きつとここへ帰つて来る。」まだ大田から出たこともないのに……と思うのですが、「何で？」と問うと「ホッとする。」と答えました。「ホッ」とするのは何なんでしょう？のどかな風景？空気？家族？でもこれだけは、はつきりと言えます。学校、十二年間通して続けた水泳で、良き先生、良き指導者、良き友達に恵まれたことだと……。

でも、この春からは、その大田の地を離れ、知らない土地での一人暮らしが始まります。良くも悪くも離れて気付くこともあるでしょう。いろんな人と出会い、いろんな文化にも触れるでしょう。そこで何を思い何を感じるのでしょうか……。そしてどのように成長していくのか……。そしてその時、「やつぱりここに住む。ホッとする。」と言ってくれるでしょうか……。いつまでもそう思ってもらえる場所でありたいと思います。

「卒業おめでとう」

「いつてらっしゃい」



三年生からの メッセージ

高校生活をふりかえって

一組 藤原 芙貴

私の高校生活を振り返ってみると、やりたいと思ったことを全てやり切ったという感じがします。特に部活動では、普通の高校生にはできないような体験をし、部活を通してとても素晴らしい仲間を作ることができました。お世話になった先生方、悩んでいる時に支えてくれた友達、いつもそばにいてくれた家族への感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

* * *

二組 水田 一平

私の高校生活は部活動を中心に回っていました。野球を通じて最後まで諦めない精神力を培い、地道に努力をし目標に向かって頑張ることができました。三年の夏では、結果を出すことができました。三年の間、仲間とともに甲子園という目標を目指したことを誇りに思います。最高の仲間に出会うことができました。充実した高校生活を送ることができた事に感謝しています。

* * *

三組 掛内 麻梨乃

大田高校での三年間は、私にとっても

も貴重な学生生活でした。楽しかったこともあれば、様々な面に悩んだ事もありました。なかでも勉強面では、進路の事で沢山悩みましたが、勉強に取り組んでいくうちに、努力をすれば必ず結果はついてくるということ学びました。ここまで来れたのも、先生方、支えてくれた友達や家族のおかげです。本当にありがとうございました。

* * *

四組 迫田 琢也

私は、誰よりも進路が定まらず、決定が遅かったと思います。二年次には部活を隠れ蓑にして勉強からも進路からも逃げていました。しかし、今考えてみると、文武両道は難しい事では無かったと思います。志一つです！

進路は決めようと思って決められるものではないので、どんなに進路で苦しんでいても、勉強は必要不可欠だ、と今更ながら実感しています。

旅立ちに向けて

三組 三浦 僚太

四月から始まる大学生活の前に多少の不安はありますが、充実した四年間を送り自分の将来につなげていきたいと思っています。卒業後は三年間過ごしたクラスや部活の友達、後輩、お世話になった先生方、そしてこれから出会う人たちとの繋がりを大切にしながら互いに支えあい、日々過

ごしていきたいと思います。そして、人から信頼してもらえ心広い人間になりたいです。

* * *

四組 堀 みな美

私は将来細胞検査士として医療に従事することを目標に考えています。高校に入学してから薬剤師や生物学者、臨床検査技師など多くの進路を考えてきましたが、いつも「病気で苦しんでいる人たちを助けたい」という思いがありました。今の進路に決定するまでに多くの人の協力や支えがありました。このことに感謝し、目標に向かって精一杯進んでいこうと思います。

* * *

五組 堀 睦未

私は多くの人の健康を守りたくて、検査技師を目指していました。大学に合格するまでには多くの壁がありましたが、今はがんばってきたよかったです心の底から思います。

これから勉強などで忙しくなり、辛いことや大変なことがあると思いますが、今まで多くの人が応援してくれたことを支えに、自分の決めた道を歩いていこうと思っています。

後輩へのメッセージ

一組 梅枝 志保里

私は高校二年時に進路変更をし、国公

立大学への進学を目指すことになりました。出願の際には部活動と勉強を三年間頑張っていたことが役立ちました。今進路が決まっている人もそうでない人も、楽な方向を向かず頑張れることはできるだけ頑張りたいと思います。当時は気にかけていないことでもしておいて良かったと振り返って思います。皆さんも頑張ってください。

* * *

二組 奥 大作

後輩の皆さんに言いたいことは一つだけです。何事にも本気で取り組んでください。部活動でも勉強でも、本気で取り組めばきっと良い結果が出るはずです。たとえ良い結果が出なくても自分は今まで頑張った、という達成感みたいな物が得られると思います。だから、たった三年しかない高校生活の間に悔いを残さないように、後輩の皆さんには全力で頑張ってください。

* * *

五組 神田 亜悠

部活と勉強の両立は大変ですが、三年になると、精神的なつらさも加わります。でも、そこで挫折して楽な思いをするよりも、必死に最後まで頑張る方が、百倍かっこいいはずです。また、三年の夏までに、いろんな事に興味をもち、それに挑戦してみると、きっと自分にとって良い経験になると思います。高校生活で、良い思い出を沢山作ってください。

新たな 旅立ちに向けて



— 3年生に贈る言葉 —

一組

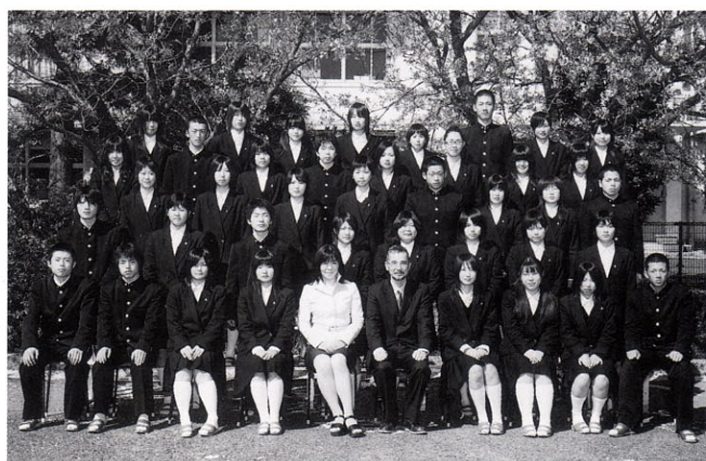
担任 松田 直子
副担任 吉岡 幸廣

一流の人であれ

担任 松田 直子

溢れる才能を活かし、如何なる困難もスリリとかわし、颯爽と生きる。三十歳位になつたらそんな「一流」になっている予定でしたが、四十を超えてもかすりもせず、よくよく自分を眺めてみると、相変わらず高い理想に一向に手が届かず、日々バタバタと格闘している姿(君達が知ってる通りの)が見えるのでした。でも、それでいいのかな、と思つています。

入学式で君達に言った「扉の向こうにあるものを自分の努力で掴み取れ」という言葉に、私同様、君達みんながこたわり、走り続ける姿を傍で見てきました。面白いように伸び続けた人など一人もない。泣いた



り落ち込んだり、でも結局みんなは自分の掴もうとするものにこだわった。それが大切なんだと思います。これからもう。案をする生き方は、探せばいくらでも転がっている。でもだからこそ、自分の生き方にこだわることが大切です。努力は一生必要です。みんなは高大で、そのトレーニングをし続けたのです。自分の人生の「根っこ」を見据え、どこであれ自分の帰属するところを愛し、自分に何ができるか考え、努力し続けてください。それができることが「一流」だと、今の私は思います。

人生は長い。すぐに結果は出ませんよ。第一、今日やって、明日出る結果なんて、たかが知れているではないですか。でも「一流」であり続けるその先に、君達はきっと花を咲かせる。そう確信して、君達を見送ろうと思ひます。お互い頑張ろう!!

二組

担任 矢野 日菜
副担任 桑原 健一

未来へ向かって

担任 矢野 日菜

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございませう。様々な思い出を共有でき、皆さんと一緒に私自身も成長させてもらいました。担任として厳しいことばかり言っていました。根気強くついてきてくれました。心優しい生徒が多く、何か頼みごとをして断られることはほとんどなく、皆快く引き受けてくれました。本当にありがとうございます。

皆さんは一人一人別々の進路を歩いて



五組

担任 曳野 剛敏
副担任 才木 克宏
今若 誠己
山代 典子

あまり使われないけど大切なもの

担任 才木 克宏

まず今年、大変悲しく忘れられない出来事があった。人には望んでも叶わないことがある。いや、人生かえってその方が多いかもしれない。このことを胸に刻み、皆さんには先生の分まで、真剣に生きていつて欲しい。

話は変わる。この前、家で大変懐かしいものを見つけた。それで思い出した話を書いてみる。

あれは妻と、いよいよ結婚しようと思った頃であった。二人で車に乗っている時に、婚約指輪をどつしよつかという話になった。その少し前に私は、母親が高いタイヤの

行かれます。今、自分の目の前にある道は自分が選びとつた結果です。これからは自らが勉強すべきことを見つけていかないといいけません。むしろこれからが本当の勉強といえるでしょう。そして、これからは失敗を恐れずに様々なことに挑戦してほしいです。たとえ失敗に終わってしまったとしてもその時の経験は新たな目標に挑戦する時の力となるでしょう。無意味な経験はありません。

若い皆さんは可能性の塊です。そしてその可能性を引き出すのは自分自身です。自分の可能性を信じて新しいことにどんどん挑戦してください。そして最後まで諦めずに強くたくましく自分の夢を実現していつてください。未来は明るいよ。

三組

担任 松本 学
副担任 菅 あゆみ

「出会い」と「別れ」

担任 松本 学

九月末、私たちは大切な仲間とお別れしました。月日が経つにつれて失ったものの大きさを実感します。

人は生きていく中で「出会い」と「別れ」を繰り返さなければなりません。それぞれの人生が交わりお互いに影響を受けて、そして離れていきます。みなさんはこの高校三年間でどのような出会い、別れがありましたか？与えられるだけでなく、与えることができましたか？



私は二年前、二年生になりたての君たちに出会いました。そしてこの二年間、多くの楽しい時間を共有するとともに、様々な問題、苦しみを抱える君たちにも直面してきました。そのような中で私自身みんなに教員として大きく育ててもらいました。逆に、私はみなさんに何かを返す事ができたでしょうか。

「出会い」からこそ人は成長できる。「出会い」からこそ「別れ」難くなる。しかし、「別れ」るからこそ「出会い」がある。今日この日の「別れ」は新たな「出会い」の始まりである。更なる成長へ向けての第一歩である。寂しさ、悲しみを乗り越えて笑顔で卒業しよう。

卒業おめでとう。新たな出会いおめでとう。そして、ありがとう。

四組

担任 藤原 智美
副担任 坂上清一郎

神様からの贈り物

担任 藤原 智美

私は皆さんより少し長く人生を生きてきました。その中で程度の差はあれど、様々な困難に遭遇し、それを乗り越えて今ここにいます。神様はその人が乗り越えられない試練は与えないのだそうです。留学を目的にして、準備やこれからの生活に対する漠然とした不安に押しつぶされそうになっていた大学三年のとき、友達と話してくれました。乗り越えてみると、大変だったけどそのおかげで心も



体重も大きくなれたとこの経験に感謝しています。

皆さんもこれから様々な試練に遭遇するでしょう。神様が試していると思うと、そして君ならできると思っていると、思えたと思うと、ちょっと踏ん張れると思います。どうかどうしようもなく苦しい状況になったら思い出してみてください。試練があるから人は成長します。いかに逃避するかではなく、いかに立ち向かうかが大切だと思います。三年生の応援団の一人として皆さんの未来に期待しています。スマートにはなく不器用でも着実に生きて欲しいと願っています。卒業おめでとう。

指輪を、家を訪れたセールスマンから買ってしまった、と聞いていた。そして婚約指輪というのは、実はあまり使われないとも聞いていた。

そこで「家にちよつどいいのがある、実はこの前……」と言った。彼女は「え」と言うたきり、黙ってしまった。いいアイデアなのに、どうしたのだらうと考えていた頃、彼女は突然激しく喋り始めた。彼女はかなりの長い間喋り続けていた、と思う。た、内容はほとんど覚えていない。数週間後彼女の指にはお気に入りの指輪がはめられていたのは言うまでもない。

この話を読んで、私の言動を良しと考える男子諸君は危険である。ぜひ異性の心を理解しようとする努力を期待する。また、夢見る女子の皆さんには、世の中やや合理的な考え方をする男性がいることを覚えておいて欲しい。

卒業おめでとう、健闘を祈る。



新しい学校評価制度について

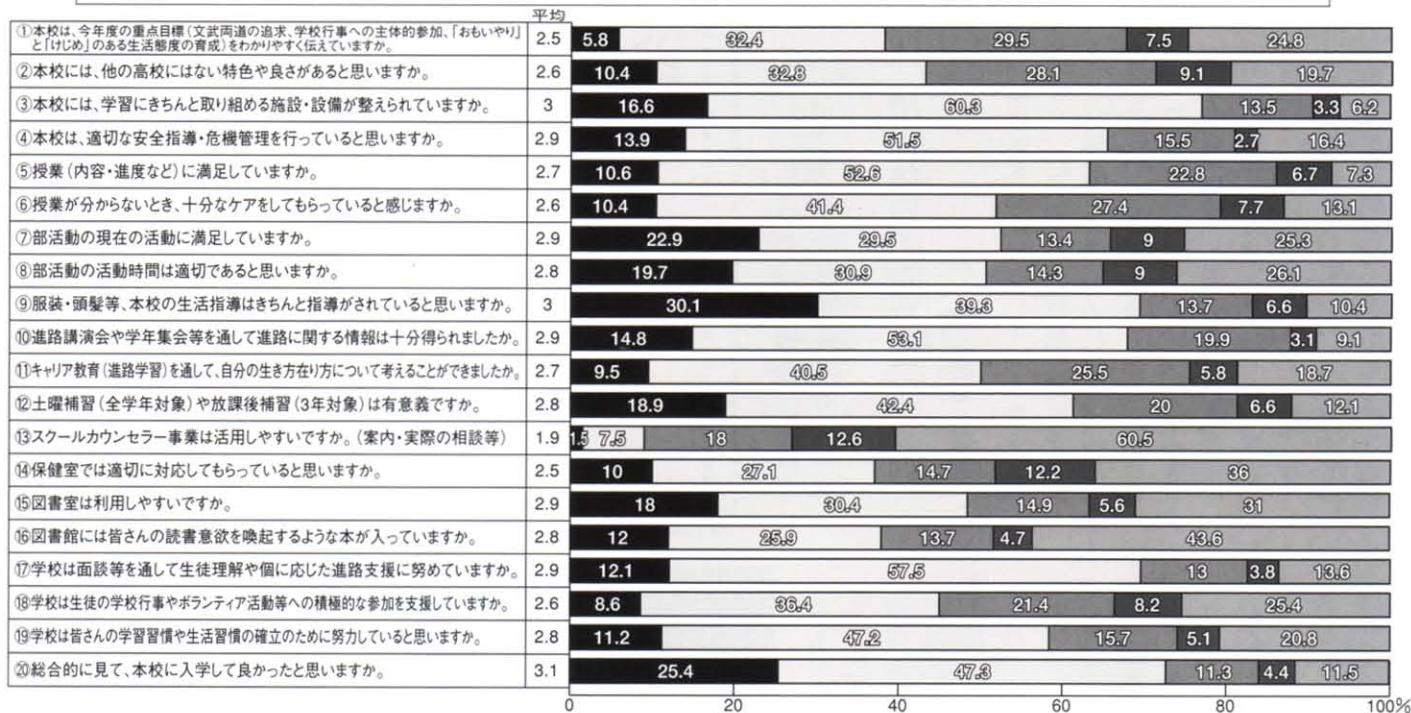
平成19年6月の学校教育法の改正により、平成20年度より新しい学校評価制度が始まりました。この制度は、子どもたちにより良い学校生活を提供するために、学校運営全般にわたる組織的・継続的な改善を求めています。そのため教職員による自己評価が重視されるようになり、生徒・保護者の皆様を対象としたアンケートは自己評価を行う上で、目標の設定・達成状況の把握や取り組みの適切さについて評価する資料という位置づけになりました。

今回、アンケートも参考にしながら自己評価をしてみましたのでご覧ください。自己評価に基づく改善策については、学校関係者評価委員会での討議も経て3月中にとりまとめ、公表する予定にしています。

アンケートにご協力いただき、本当にありがとうございました。

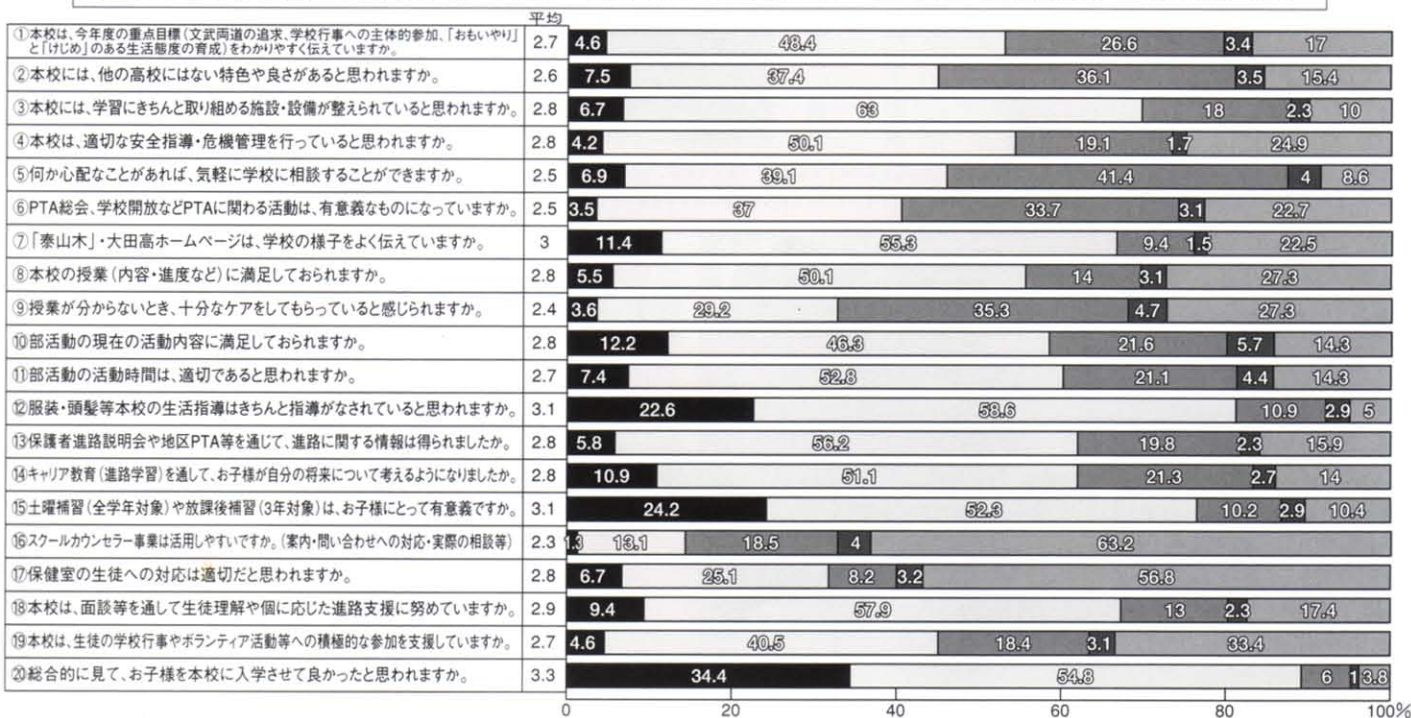
平成20年度 大田高校に関する生徒によるアンケート(全体:551名回答)

■ 4: とてもそう思う □ 3: だいたいそう思う ■ 2: あまりそう思わない ■ 1: 全くそう思わない ■ 0: わからない



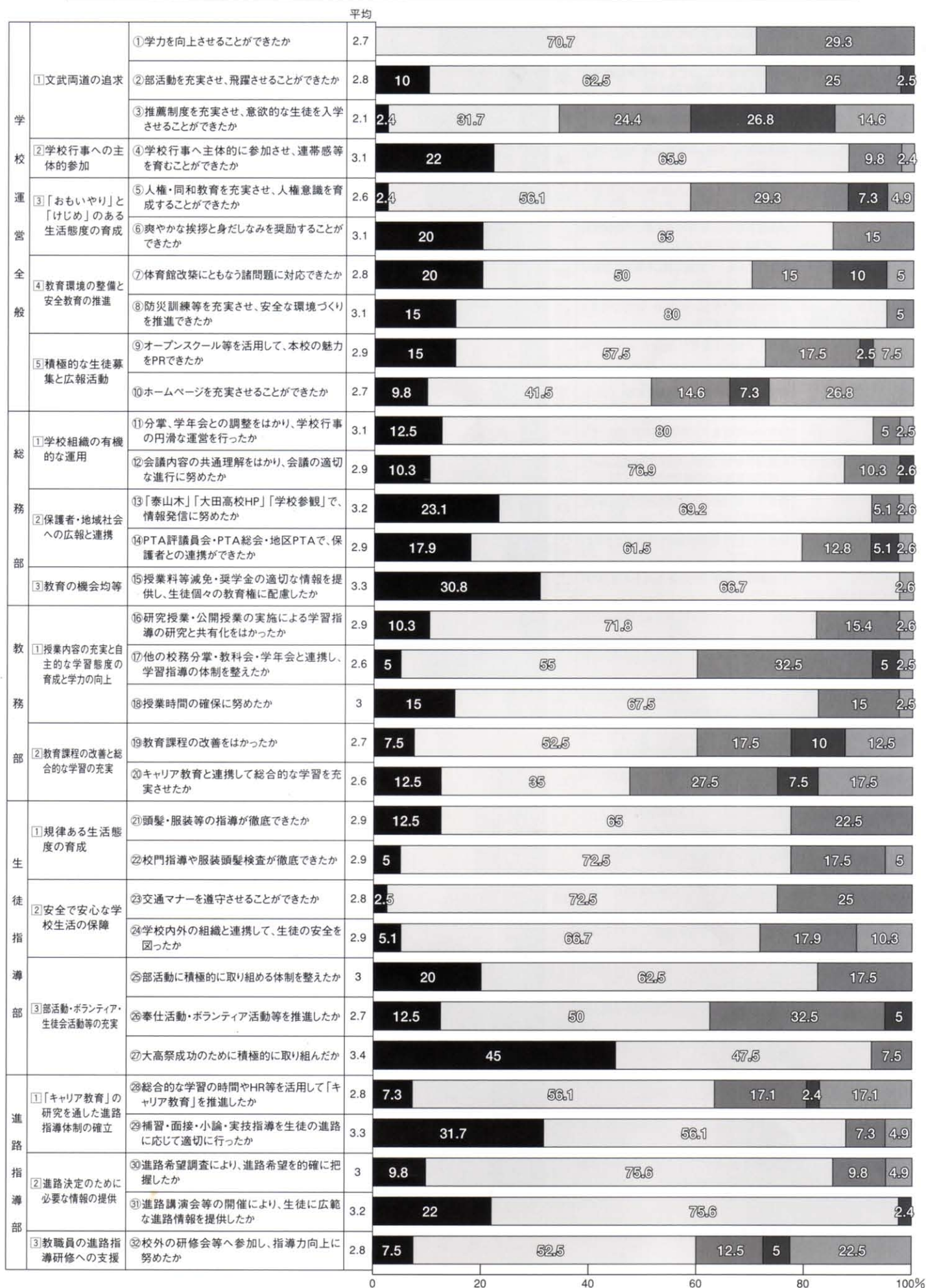
平成20年度 大田高校に関する保護者によるアンケート(全体:483名回答)

■ 4: とてもそう思う □ 3: だいたいそう思う ■ 2: あまりそう思わない ■ 1: 全くそう思わない ■ 0: わからない



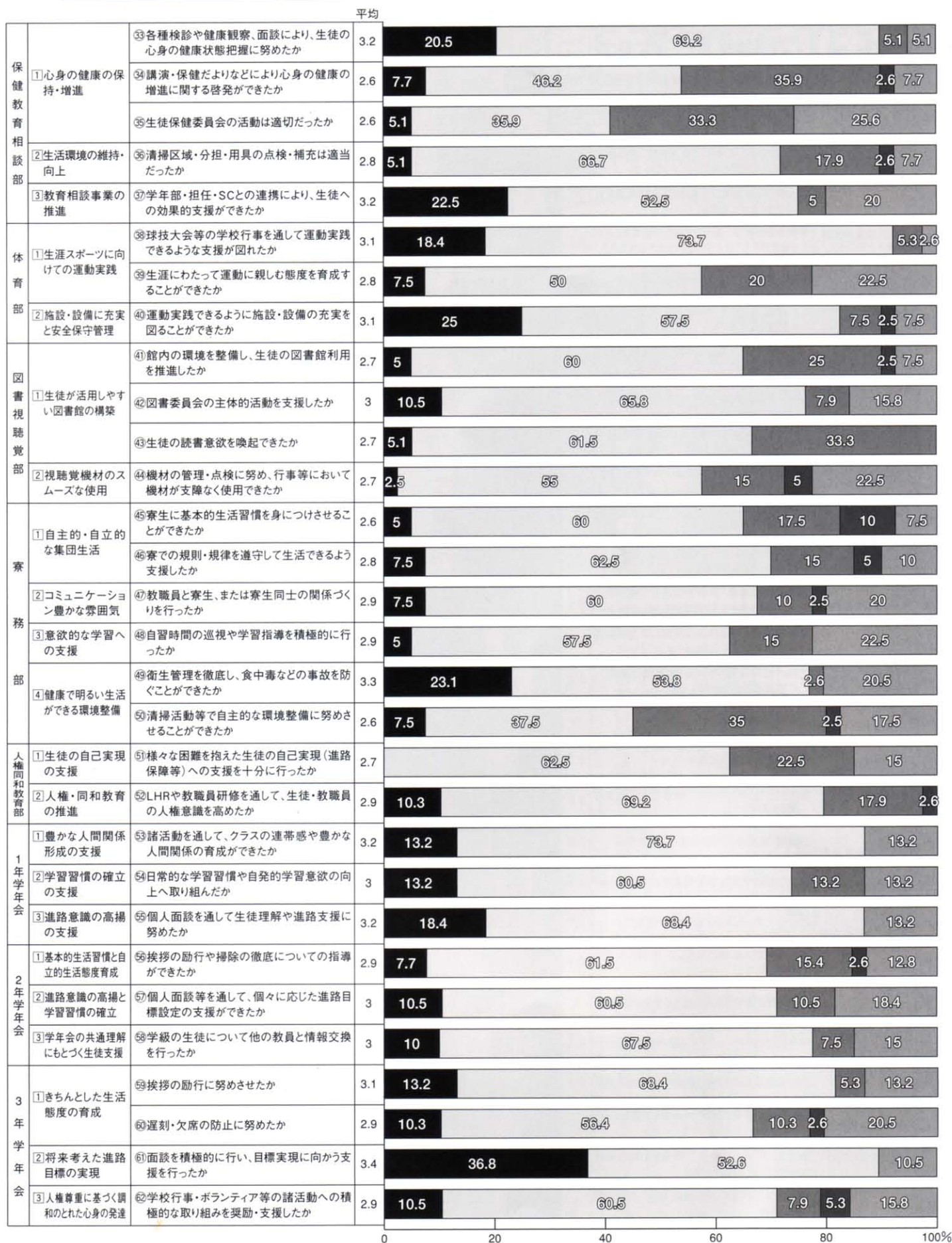
平成20年度 教職員による自己評価(41名回答)

■ 4: 十分にできている □ 3: だいたいできている ■ 2: やや不十分である ■ 1: 不十分である ■ 0: わからない



平成20年度 教職員による自己評価(41名回答)

■ 4: 十分できている □ 3: だいたいできている ■ 2: やや不十分である ■ 1: 不十分である ■ 0: わからない



注) アンケート・自己評価の平均値は、4段階評価のものです。

健闘光る

(12月・2月の部活動)

運動部

【柔道】

▽島根県高校柔道選手権大会
男子個人 2回戦敗退
中島勝気、飯塚寛也、
大野泰啓、錦織勇人、
島田奨馬

【剣道】

▽島根県高校剣道新人戦大会
男子団体 1回戦 大田1-3三刀屋
男子個人 2回戦敗退
清水翔也、森脇 健

女子団体 2回戦 大田2-0三刀屋
準決勝 大田0-4大社
(3位入賞、中国新人出場権獲得)
女子個人 1回戦敗退
河野芹菜、鈴木 楓

3回戦敗退
川上禎子(ベスト16)
2位 高木明衣
(中国新人出場権獲得)

【男子バレーボール】

▽島根県高校バレーボール選手権大会
予選リーグ敗退 大田0-2出雲工業
大田0-2横田

【女子バレーボール】

▽島根県高校バレーボール選手権大会
予選リーグ敗退 大田2-0吉賀
大田2-1飯南
大田0-2松江南

▽第55回石西バレーボール大会

大田2-0浜田クラブ
大田2-0Alice
(準決勝) 大田2-0吉賀高校
(決勝) 大田2-0益田クラブ 初優勝

【男子バスケットボール】

▽石見地区高校新人バスケットボール大会
大田77-82江津工業
大田51-89浜田

▽島根県高校バスケットボール新人大会
大田53-101松江農林

【女子バスケットボール】

▽石見地区高校新人バスケットボール大会
大田47-89明誠
大田50-58浜田

▽島根県高校バスケットボール新人大会
大田54-91松江農林

【卓球】

▽島根県高校新人卓球大会
男子団体 1回戦3-1立正大湊南
2回戦0-3津和野
女子団体 1回戦3-2矢上
準々決勝3-2松江商業
準決勝0-3明誠
順位決定戦3-0松江農林
3位決定戦2-3平田 (第4位)

男子ダブルス 4回戦進出 生越拓郎・岡田将大
女子ダブルス 3回戦進出 宮迫利帆・原田愛子 (ベスト16)

女子シングルス 4回戦進出 原田愛子(ベスト32)

※7名による代表決定戦を勝ち抜き、
全国選抜卓球大会シングルス(2部)
出場決定

▽島根県卓球選手権大会

男子団体

大田高A 1回戦2-3出雲クラブB
大田高B 1回戦3-0松江農林B

2回戦0-3明誠A

女子団体 2回戦2-3KIDS嫁島A
女子ダブルス 宮迫利帆・原田愛子

4回戦3-0(明誠)

準々決勝0-3(出雲西)(ベスト8)

女子シングルス 4回戦進出 原田愛子(ベスト32)

【男子テニス】

▽第7回島根県高校体育連盟テニス部学年別
テニス大会2年大会
男子個人 1回戦敗退 合原和希、河上真也、
岡田章弘、川上慶士、
岩谷拓朗、川戸千裕
2回戦敗退 田部卓磨、松井健太
ベスト32 田邊周平
ベスト16 渡辺 亨
ベスト8 大谷泰史

▽第7回島根県高校体育連盟テニス部学年
別テニス大会1年大会

男子個人 2回戦敗退 松本康平、岡田有正
3回戦敗退 原 明志、柳井報生
ベスト16 清水健太

【女子テニス】

▽第7回島根県高校体育連盟テニス部学年
別テニス大会2年大会
女子個人 第1位 小林恵理奈
ベスト32 野田さつき、山内春奈、
奥野万智

▽第7回島根県高校体育連盟テニス部学年
別テニス大会1年大会

女子個人

第4位 川島絵梨香
ベスト8 小笠原瑞華
ベスト16 田原里佳
ベスト32 竹下聡美、小玉直美

【サッカー】

▽島根県高校サッカー新人大会
1回戦 大田1-0松江北
2回戦 大田0-2大社

文化部

【美術】

▽第41回島根県高校美術展
入選 絵画19点(14名)
デザイン12点(10名)

▽高文連石見地区彫刻コンクール
入選 9名
優秀作上位10名 長見めぐみ、小玉文香
坂根 幸、片山 明

【囲碁・将棋】

▽中国高校将棋選手権大会
男子個人 23位 海塚紀章
女子個人 3位 島田砂希
6位 竹下 瑛

▽第32回全国高総文祭将棋部門 将棋選手
権大会
女子個人 予選敗退
竹下 瑛、岩佐笑里香

決勝トーナメント1回戦敗退
島田砂希

▽中国高校囲碁選手権大会

男子団体 3位
女子団体 準優勝

学園 スナック



寒稽古



保育実習



進路講演会

家庭クラブ交流会



編集後記

今年度も残すところあとわずか。三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

さて、今日のわが国は皮肉にも百年に一度と言われるほどの経済不況の中で解雇や採用取消など多くの問題が発生しており、極めて悩ましい状況であると言えます。一刻も早くこの難局が打開されることを願ってやみません。

これから未来を担う学生の皆さんは大田高校で培った忍耐と誇りをもって頑張ってください。私たちも応援しています。

終わりに「泰山木」では、学校の近況や学生たちの活動状況などを掲載しております。今後ともPTA活動に対してのご理解とご協力をお願い致します。